

令和5年度授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立第二中学校（ E 組 ）

目指す授業		<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を定着させる授業 ○主体的に学ぶ姿勢を育て、幅広く知識・技能を身に付ける意欲を引き出すとともに、思考・判断・表現する力を育てる授業 	
教科	① 生徒の実態・課題	② 授業改善の取組	③ 取組結果
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の課題を通して漢字を書いて覚えようとする姿勢や習慣は定着しているが、覚えた漢字を学習や日常生活に生かす意識が高まっていない。 ○話すことや書くことにおいて表現しようとする意欲は高いが、スキルが身に付けていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎授業での漢字学習の取組に加え、単元ごとに漢字テストを実施し、覚えた漢字をアウトプットする回数を確保する。また、ワークシートや作文課題では、漢字を活用して書くよう意識付けを行う。 ○互いのスピーチや作文を評価しあうことにより、分かりやすい表現を考える視点を身に付けさせる。 ○スピーチ原稿や長い文章を書く取組では、推敲して何度でも書き直せるよう、タブレット PC を使用して文章を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の日記や学習で、意識して漢字を書こうという意識が高まった。 ○スピーチや作文を行うときに、伝わりやすい構成を意識して書けるようになった。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○計算問題については自信のある生徒が多いが、文章題などに不安のある生徒が多い。 ○計算方法については理解できても、複数の種類の問題を見て、正しい計算方法を選択することに課題がある。 ○学習内容に難しさを感じると、集中して取り組めないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個の学習状況に応じて難易度の異なるプリントを段階的に用意し、繰り返し取り組ませることで、基礎的な計算力や応用力を身に付けさせる。 ○1種類の計算を続けて取り組むだけではなく、複数の計算を意図的に混ぜて取り組ませる。 ○基礎的な計算から段階的に学ばせ、スモールステップで達成感を感じさせながら学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な計算については、個別の課題等を用意し、今後も継続して定着を図る必要がある。 ○タブレット PC を活用し、小数や分数の仕組みを視覚的に示したり、具体物の操作やロールプレイ形式を取り入れたりすることで、計算の概念を理解させることができた。そのことが文章題の理解にもつながった。